

# 令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 長崎県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
長崎市	長崎みなとメディカルセンター	2
佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市 総合医療センター	3
佐世保市	地方独立行政法人 北松中央 病院	4
大村市	市立大村市民病院	5
平戸市	国民健康保険平戸市民病院	6
平戸市	平戸市立生月病院	7
雲仙・南島原保健組合（ 事業会計分）	公立新小浜病院	8
長崎県病院企業団	五島中央病院	9
長崎県病院企業団	富江病院	10
長崎県病院企業団	上五島病院	11
長崎県病院企業団	上対馬病院	12
長崎県病院企業団	精神医療センター	13
長崎県病院企業団	島原病院	14
長崎県病院企業団	壱岐病院	15
長崎県病院企業団	対馬病院	16

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	長崎県
		市町村・組合名	長崎市
		病院名	長崎みなとメディカルセンター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	429,508	
決算規模(千円)	213,222,346	
標準財政規模(千円)	98,722,898	
財政力指数	0.59	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	82.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	34,570			
1 経常収益	34,570			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	34,570			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	34,570			
2 経常費用	34,570			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	49.1
材料費	-	-	24.7	29.1
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.7
減価償却費	-	-	9.0	8.4
経費	-	-	23.3	20.7
(うち委託料)	-	-	11.5	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	34,570			
(うち支払利息)	34,570	-	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	89.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	長崎県
		市町村・組合名	佐世保市
		病院名	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	255,439	
決算規模(千円)	132,355,607	
標準財政規模(千円)	59,525,723	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	35,907			
1 経常収益	35,907			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	35,907			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	35,907			
2 経常費用	35,907			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	49.1
材料費	-	-	24.7	29.1
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.7
減価償却費	-	-	9.0	8.4
経費	-	-	23.3	20.7
(うち委託料)	-	-	11.5	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	35,907			
(うち支払利息)	35,907	-	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	89.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>		都道府県名	長崎県
		市町村・組合名	佐世保市
		病院名	地方独立行政法人 北松中央病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	255,439	
決算規模（千円）	132,355,607	
標準財政規模（千円）	59,525,723	
財政力指数	0.53	
経常収支比率（%）	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	4.5
	将来負担比率（%）	-

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,722			
1 経常収益	15,722			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	15,722			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,722			
2 経常費用	15,722			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	-	-	9.0	10.2
経費	-	-	23.3	30.5
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	15,722			
(うち支払利息)	15,722	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.5
医業収支比率	-		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	長崎県
	市町村・組合名	大村市
	病院名	市立大村市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	16,328 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感 輪
診療科数	22	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	212	94.0	93.0	93.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	48.3	29.5	2.1
計	216	93.2	91.9	91.7
平均在院日数(一般病床のみ)		19.8	20.5	20.8

設立団体の状況		
人口(人)	92,757	
決算規模(千円)	49,266,994	
標準財政規模(千円)	19,926,980	
財政力指数	0.64	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	52.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	497,643			
1 経常収益	497,643			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	497,643			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	65,165			
(うち長期前受金戻入)	432,183			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	764,443			
2 経常費用	764,443			
(1) 医業費用	703,034			
職員給与費	1,267	-	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	699,377	-	9.0	9.9
経費	2,390	-	23.3	27.7
(うち委託料)	-	-	11.5	12.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	61,409			
(うち支払利息)	61,409	-	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-266,800			
純損益	-266,800			
累積欠損金	1,997,654			
経常収支比率	65.1		97.7	96.3
医業収支比率	-		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	13.1		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	13.1		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	56.6		85.7	83.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,652,488
1 固定資産	7,610,732
(1) 有形固定資産	7,610,732
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	41,756
(1) 現金及び預金	41,016
(2) 未収金及び未収収益	740
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	8,779,404
1 固定負債	6,945,484
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,645,484
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	300,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	482,300
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	481,474
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	476
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,351,620
(1) 長期前受金	4,420,503
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,068,883
資本合計	-1,126,916
1 資本金	629,464
2 剰余金	-1,756,380
(1) 資本金剰余金	241,274
(2) 利益剰余金	-1,997,654
負債・資本合計	7,652,488
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	1,126,916
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	36,101	65,165
資本勘定繰入	253,619	465,612
計	289,720	530,777

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	平戸市
				病院名	国民健康保険平戸市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,703 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救		
診療科数	7	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	58	88.7	88.0	88.4
療養	29	82.4	75.3	84.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	87	86.1	82.6	86.6
平均在院日数(一般病床のみ)		17.4	16.5	17.2

設立団体の状況		
人口(人)	31,920	
決算規模(千円)	25,125,070	
標準財政規模(千円)	13,001,916	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,511,300			
1 経常収益	1,505,757			
(1) 医業収益	1,222,156			
入院収益	679,969			
外来収益	347,005			
診療収入計	1,026,974			
その他医業収益	195,182			
(うち他会計負担金)	58,026			
(2) 医業外収益	283,601			
(うち国・都道府県補助金)	7,225			
(うち他会計補助・負担金)	201,735			
(うち長期前受金戻入)	64,119			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,543			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,522,096			
2 経常費用	1,519,980			
(1) 医業費用	1,443,356			
職員給与費	869,306	71.1	55.7	72.6
材料費	134,435	11.0	24.7	15.8
(うち薬品費)	71,168	5.8	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	63,267	5.2	11.0	5.6
減価償却費	105,255	8.6	9.0	11.1
経費	321,534	26.3	23.3	31.9
(うち委託料)	180,439	14.8	11.5	13.0
研究研修費	2,306			
資産減耗費	10,520			
(2) 医業外費用	76,624			
(うち支払利息)	26,840	2.2	1.4	1.7
(3) 特別損失	2,116			
損益				
経常損益	-14,223			
純損益	-10,796			
累積欠損金	61,075			
経常収支比率	99.1		97.7	97.4
医業収支比率	84.7		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	17.3		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	21.3		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	17.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	82.0		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,568,176
1 固定資産	2,654,657
(1) 有形固定資産	2,648,718
(2) 無形固定資産	1,905
(3) 投資その他の資産	4,034
2 流動資産	913,519
(1) 現金及び預金	540,474
(2) 未収金及び未収収益	358,949
(3) 貸倒引当金( )	6,987
(4) 貯蔵品	20,364
3 繰延資産	-
負債合計	2,423,697
1 固定負債	1,276,284
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	767,095
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	509,189
(7) リース債務	-
2 流動負債	327,682
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	161,547
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	97,235
(6) リース債務	1,555
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	66,450
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	819,731
(1) 長期前受金	1,945,963
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,126,232
資本合計	1,144,479
1 資本金	1,233,159
2 剰余金	-88,680
(1) 資本剰余金	153,613
(2) 利益剰余金	-242,293
負債・資本合計	3,568,176
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.7
修正医業収益(千円)	1,164,130

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	259,761	259,761
資本勘定繰入	139,967	139,967
計	399,728	399,728

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	長崎県
	市町村・組合名	平戸市
	病院名	平戸市立生月病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,066 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨
診療科数	5	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	73.1	76.5	77.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	73.1	76.5	77.9
平均在院日数(一般病床のみ)		28.7	27.5	28.5

設立団体の状況		
人口(人)	31,920	
決算規模(千円)	25,125,070	
標準財政規模(千円)	13,001,916	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	718,590			
1 経常収益	709,715			
(1) 医業収益	579,093			
入院収益	346,918			
外来収益	162,545			
診療収入計	509,463			
その他医業収益	69,630			
(うち他会計負担金)	41,852			
(2) 医業外収益	130,622			
(うち国・都道府県補助金)	453			
(うち他会計補助・負担金)	104,140			
(うち長期前受金戻入)	22,726			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,875			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	750,422			
2 経常費用	749,949			
(1) 医業費用	722,588			
職員給与費	473,960	81.8	55.7	72.6
材料費	61,369	10.6	24.7	15.8
(うち薬品費)	33,087	5.7	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,282	4.9	11.0	5.6
減価償却費	50,185	8.7	9.0	11.1
経費	132,125	22.8	23.3	31.9
(うち委託料)	77,274	13.3	11.5	13.0
研究研修費	845			
資産減耗費	4,104			
(2) 医業外費用	27,361			
(うち支払利息)	896	0.2	1.4	1.7
(3) 特別損失	473			
損益				
経常損益	-40,234			
純損益	-31,832			
累積欠損金	181,218			
経常収支比率	94.6		97.7	97.4
医業収支比率	80.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	20.6		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	25.2		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	20.3		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	75.2		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,568,176
1 固定資産	2,654,657
(1) 有形固定資産	2,648,718
(2) 無形固定資産	1,905
(3) 投資その他の資産	4,034
2 流動資産	913,519
(1) 現金及び預金	540,474
(2) 未収金及び未収収益	358,949
(3) 貸倒引当金( )	6,987
(4) 貯蔵品	20,364
3 繰延資産	-
負債合計	2,423,697
1 固定負債	1,276,284
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	767,095
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	509,189
(7) リース債務	-
2 流動負債	327,682
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	161,547
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	97,235
(6) リース債務	1,555
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	66,450
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	819,731
(1) 長期前受金	1,945,963
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,126,232
資本合計	1,144,479
1 資本金	1,233,159
2 剰余金	-88,680
(1) 資本金剰余金	153,613
(2) 利益剰余金	-242,293
負債・資本合計	3,568,176
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.3
修正医業収益(千円)	537,241

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	145,992	145,992
資本勘定繰入	51,332	51,332
計	197,324	197,324

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	長崎県
	市町村・組合名	雲仙・南島原保健組合(事業会計分)
	病院名	公立新小浜病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	7,857 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	16	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	90	90.7	89.5	90.7
療養	60	92.7	88.7	91.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	91.5	89.2	90.9
平均在院日数(一般病床のみ)		20.5	17.5	17.3

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	1.2
修正医業収益(千円)	3,932

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	368,132			
1 経常収益	368,132			
(1) 医業収益	3,932			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	3,932			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	364,200			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	328,801			
(うち長期前受金戻入)	30,713			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	388,747			
2 経常費用	388,747			
(1) 医業費用	340,276			
職員給与費	37,531	954.5	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	96,271	2448.4	9.0	10.2
経費	189,360	4815.9	23.3	30.5
(うち委託料)	47,582	1210.1	11.5	13.0
研究研修費	-	-		
資産減耗費	17,114			
(2) 医業外費用	48,471			
(うち支払利息)	12,345	314.0	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-20,615			
純損益	-20,615			
累積欠損金	-			
経常収支比率	94.7		97.7	96.5
医業収支比率	1.2		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	89.3		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	8362.2		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	89.3		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	10.1		85.7	80.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,501,105
1 固定資産	5,130,947
(1) 有形固定資産	5,130,855
(2) 無形固定資産	92
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,367,658
(1) 現金及び預金	1,144,331
(2) 未収金及び未収収益	223,327
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	2,500
負債合計	4,728,572
1 固定負債	2,379,138
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,379,138
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	322,052
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	166,598
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,683
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	152,771
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,027,382
(1) 長期前受前受金	2,462,629
(2) 長期前受金収益化累計額( )	435,247
資本合計	1,772,533
1 資本金	399,681
2 剰余金	1,372,852
(1) 資本剰余金	1,233,517
(2) 利益剰余金	139,335
負債・資本合計	6,501,105
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	47,551	328,801
資本勘定繰入	1,426,060	1,426,060
計	1,473,611	1,754,861

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	長崎県病院企業団
				病院名	五島中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,410 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
診療科数	16	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	230	69.6	63.8	68.8
療養	-	-	-	-
結核	10	1.2	1.1	5.4
精神	60	48.7	50.6	50.0
感染症	4	-	-	-
計	304	62.7	58.6	62.5
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	14.8	15.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.9
修正医業収益(千円)	4,524,465

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,759,867			
1 経常収益	5,755,595			
(1) 医業収益	4,598,750			
入院収益	2,767,161			
外来収益	1,545,690			
診療収入計	4,312,851			
その他医業収益	285,899			
(うち他会計負担金)	74,285			
(2) 医業外収益	1,156,845			
(うち国・都道府県補助金)	68,309			
(うち他会計補助・負担金)	997,965			
(うち長期前受金戻入)	52,720			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,272			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,713,883			
2 経常費用	5,701,690			
(1) 医業費用	5,328,246			
職員給与費	2,736,467	59.5	55.7	57.0
材料費	1,159,851	25.2	24.7	24.5
(うち薬品費)	845,110	18.4	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	310,447	6.8	11.0	11.3
減価償却費	431,575	9.4	9.0	9.3
経費	954,708	20.8	23.3	22.1
(うち委託料)	531,230	11.6	11.5	11.1
研究研修費	22,831			
資産減耗費	22,814			
(2) 医業外費用	373,444			
(うち支払利息)	101,266	2.2	1.4	1.4
(3) 特別損失	12,193			
損益				
経常損益	53,905			
純損益	45,984			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.9		97.7	96.4
医業収支比率	86.3		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	18.6		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	23.3		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	18.6		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	82.1		85.7	85.3

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	56,803,935
1 固定資産	41,742,031
(1) 有形固定資産	33,732,887
(2) 無形固定資産	735,813
(3) 投資その他の資産	7,273,331
2 流動資産	15,061,904
(1) 現金及び預金	10,985,263
(2) 未収金及び未収収益	3,922,176
(3) 貸倒引当金( )	95,573
(4) 貯蔵品	245,292
3 繰延資産	-
負債合計	34,967,521
1 固定負債	23,286,667
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,066,321
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	237,519
(6) 引当金	5,976,315
(7) リース債務	6,512
2 流動負債	5,925,396
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,070,977
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,903
(5) 引当金	906,312
(6) リース債務	2,989
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,625,377
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,755,458
(1) 長期前受金	9,278,225
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,522,767
資本合計	21,836,414
1 資本金	15,168,221
2 剰余金	6,668,193
(1) 資本金剰余金	5,190,142
(2) 利益剰余金	1,478,051
負債・資本合計	56,803,935
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	560,018	1,072,250
資本勘定繰入	335,780	349,241
計	895,798	1,421,491

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	長崎県病院企業団
				病院名	富江病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,092 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救		
診療科数	6	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	55	95.1	91.3	92.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	95.1	91.3	92.4
平均在院日数(一般病床のみ)		32.8	25.3	25.0

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	97.3
修正医業収益(千円)	643,680

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	825,789			
1 経常収益	825,276			
(1) 医業収益	679,974			
入院収益	503,123			
外来収益	120,671			
診療収入計	623,794			
その他医業収益	56,180			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	145,302			
(うち国・都道府県補助金)	579			
(うち他会計補助・負担金)	124,425			
(うち長期前受金戻入)	11,809			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	513			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	682,314			
2 経常費用	680,499			
(1) 医業費用	661,605			
職員給与費	430,585	63.3	55.7	72.6
材料費	78,599	11.6	24.7	15.8
(うち薬品費)	36,762	5.4	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	29,420	4.3	11.0	5.6
減価償却費	50,908	7.5	9.0	11.1
経費	97,648	14.4	23.3	31.9
(うち委託料)	26,159	3.8	11.5	13.0
研究研修費	2,324			
資産減耗費	1,541			
(2) 医業外費用	18,894			
(うち支払利息)	628	0.1	1.4	1.7
(3) 特別損失	1,815			
損益				
経常損益	144,777			
純損益	143,475			
累積欠損金	-			
経常収支比率	121.3		97.7	97.4
医業収支比率	102.8		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	19.5		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	23.6		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	19.5		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	97.7		85.7	74.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	56,803,935
1 固定資産	41,742,031
(1) 有形固定資産	33,732,887
(2) 無形固定資産	735,813
(3) 投資その他の資産	7,273,331
2 流動資産	15,061,904
(1) 現金及び預金	10,985,263
(2) 未収金及び未収収益	3,922,176
(3) 貸倒引当金( )	95,573
(4) 貯蔵品	245,292
3 繰延資産	-
負債合計	34,967,521
1 固定負債	23,286,667
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,066,321
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	237,519
(6) 引当金	5,976,315
(7) リース債務	6,512
2 流動負債	5,925,396
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,070,977
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,903
(5) 引当金	906,312
(6) リース債務	2,989
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,625,377
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,755,458
(1) 長期前受金	9,278,225
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,522,767
資本合計	21,836,414
1 資本金	15,168,221
2 剰余金	6,668,193
(1) 資本剰余金	5,190,142
(2) 利益剰余金	1,478,051
負債・資本合計	56,803,935
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	18,762	160,719
資本勘定繰入	44,046	44,046
計	62,808	204,765

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	長崎県病院企業団
				病院名	上五島病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	13,954 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感へ災		
診療科数	18	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	132	81.5	79.0	87.0
療養	50	80.9	72.3	74.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	186	79.6	75.5	81.8
平均在院日数(一般病床のみ)		17.7	17.1	19.5

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.7
修正医業収益(千円)	3,983,122

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,483,298			
1 経常収益	4,479,717			
(1) 医業収益	4,022,810			
入院収益	2,093,240			
外来収益	1,608,922			
診療収入計	3,702,162			
その他医業収益	320,648			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	456,907			
(うち国・都道府県補助金)	27,050			
(うち他会計補助・負担金)	295,348			
(うち長期前受金戻入)	46,715			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,581			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,638,338			
2 経常費用	4,623,947			
(1) 医業費用	4,441,942			
職員給与費	2,443,569	60.7	55.7	61.3
材料費	837,226	20.8	24.7	17.6
(うち薬品費)	325,150	8.1	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	473,666	11.8	11.0	8.2
減価償却費	417,816	10.4	9.0	10.2
経費	706,678	17.6	23.3	30.5
(うち委託料)	134,486	3.3	11.5	13.0
研究研修費	29,138			
資産減耗費	7,515			
(2) 医業外費用	182,005			
(うち支払利息)	1,484	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	14,391			
損益				
経常損益	-144,230			
純損益	-155,040			
累積欠損金	-			
経常収支比率	96.9		97.7	96.5
医業収支比率	90.6		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.5		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.3		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	89.6		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	56,803,935
1 固定資産	41,742,031
(1) 有形固定資産	33,732,887
(2) 無形固定資産	735,813
(3) 投資その他の資産	7,273,331
2 流動資産	15,061,904
(1) 現金及び預金	10,985,263
(2) 未収金及び未収収益	3,922,176
(3) 貸倒引当金( )	95,573
(4) 貯蔵品	245,292
3 繰延資産	-
負債合計	34,967,521
1 固定負債	23,286,667
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,066,321
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	237,519
(6) 引当金	5,976,315
(7) リース債務	6,512
2 流動負債	5,925,396
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,070,977
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,903
(5) 引当金	906,312
(6) リース債務	2,989
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,625,377
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,755,458
(1) 長期前受金	9,278,225
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,522,767
資本合計	21,836,414
1 資本金	15,168,221
2 剰余金	6,668,193
(1) 資本剰余金	5,190,142
(2) 利益剰余金	1,478,051
負債・資本合計	56,803,935
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	90,075	335,036
資本勘定繰入	79,538	88,014
計	169,613	423,050

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	長崎県病院企業団
				病院名	上対馬病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,554 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救へ輪		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	58.3	66.7	72.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	58.3	66.7	72.7
平均在院日数(一般病床のみ)		20.9	23.1	24.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.5
修正医業収益(千円)	692,250

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	960,761			
1 経常収益	960,658			
(1) 医業収益	730,241			
入院収益	348,213			
外来収益	272,572			
診療収入計	620,785			
その他医業収益	109,456			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	230,417			
(うち国・都道府県補助金)	20,491			
(うち他会計補助・負担金)	160,560			
(うち長期前受金戻入)	29,610			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	103			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,019,635			
2 経常費用	1,019,100			
(1) 医業費用	967,763			
職員給与費	624,206	85.5	55.7	72.6
材料費	114,725	15.7	24.7	15.8
(うち薬品費)	50,044	6.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	55,423	7.6	11.0	5.6
減価償却費	77,059	10.6	9.0	11.1
経費	147,062	20.1	23.3	31.9
(うち委託料)	42,600	5.8	11.5	13.0
研究研修費	3,050			
資産減耗費	1,661			
(2) 医業外費用	51,337			
(うち支払利息)	4,201	0.6	1.4	1.7
(3) 特別損失	535			
損益				
経常損益	-58,442			
純損益	-58,874			
累積欠損金	114,557			
経常収支比率	94.3		97.7	97.4
医業収支比率	75.5		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	20.7		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	27.2		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	20.7		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	74.8		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	56,803,935
1 固定資産	41,742,031
(1) 有形固定資産	33,732,887
(2) 無形固定資産	735,813
(3) 投資その他の資産	7,273,331
2 流動資産	15,061,904
(1) 現金及び預金	10,985,263
(2) 未収金及び未収収益	3,922,176
(3) 貸倒引当金( )	95,573
(4) 貯蔵品	245,292
3 繰延資産	-
負債合計	34,967,521
1 固定負債	23,286,667
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,066,321
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	237,519
(6) 引当金	5,976,315
(7) リース債務	6,512
2 流動負債	5,925,396
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,070,977
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,903
(5) 引当金	906,312
(6) リース債務	2,989
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,625,377
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,755,458
(1) 長期前受金	9,278,225
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,522,767
資本合計	21,836,414
1 資本金	15,168,221
2 剰余金	6,668,193
(1) 資本金剰余金	5,190,142
(2) 利益剰余金	1,478,051
負債・資本合計	56,803,935
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	23,137	198,551
資本勘定繰入	21,513	21,513
計	44,650	220,064

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	長崎県病院企業団
				病院名	精神医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	13,161 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	臨感		
診療科数	3	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	139	72.9	72.2	79.6
感染症	-	-	-	-
計	139	72.9	72.2	79.6
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.5
修正医業収益(千円)	1,303,538

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,826,079			
1 経常収益	1,820,218			
(1) 医業収益	1,352,030			
入院収益	1,073,134			
外来収益	196,946			
診療収入計	1,270,080			
その他医業収益	81,950			
(うち他会計負担金)	48,492			
(2) 医業外収益	468,188			
(うち国・都道府県補助金)	5,558			
(うち他会計補助・負担金)	405,639			
(うち長期前受金戻入)	48,682			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,861			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,726,863			
2 経常費用	1,725,712			
(1) 医業費用	1,682,176			
職員給与費	1,176,312	87.0	55.7	98.9
材料費	146,725	10.9	24.7	8.8
(うち薬品費)	132,006	9.8	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,181	1.0	11.0	1.1
減価償却費	108,208	8.0	9.0	12.7
経費	238,434	17.6	23.3	34.6
(うち委託料)	126,005	9.3	11.5	17.1
研究研修費	11,959			
資産減耗費	538			
(2) 医業外費用	43,536			
(うち支払利息)	2,162	0.2	1.4	2.9
(3) 特別損失	1,151			
損益				
経常損益	94,506			
純損益	99,216			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.5		97.7	98.9
医業収支比率	80.4		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	24.9		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	33.6		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	24.9		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	79.2		85.7	64.3

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	56,803,935
1 固定資産	41,742,031
(1) 有形固定資産	33,732,887
(2) 無形固定資産	735,813
(3) 投資その他の資産	7,273,331
2 流動資産	15,061,904
(1) 現金及び預金	10,985,263
(2) 未収金及び未収収益	3,922,176
(3) 貸倒引当金( )	95,573
(4) 貯蔵品	245,292
3 繰延資産	-
負債合計	34,967,521
1 固定負債	23,286,667
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,066,321
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	237,519
(6) 引当金	5,976,315
(7) リース債務	6,512
2 流動負債	5,925,396
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,070,977
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,903
(5) 引当金	906,312
(6) リース債務	2,989
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,625,377
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,755,458
(1) 長期前受金	9,278,225
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,522,767
資本合計	21,836,414
1 資本金	15,168,221
2 剰余金	6,668,193
(1) 資本剰余金	5,190,142
(2) 利益剰余金	1,478,051
負債・資本合計	56,803,935
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	447,329	454,131
資本勘定繰入	16,828	16,828
計	464,157	470,959

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	長崎県病院企業団
				病院名	島原病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,076 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	17	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	250	86.6	77.2	82.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	254	85.2	75.9	81.3
平均在院日数(一般病床のみ)		15.5	14.3	14.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.3
修正医業収益(千円)	5,416,025

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,951,454			
1 経常収益	5,945,437			
(1) 医業収益	5,544,744			
入院収益	4,082,595			
外来収益	1,235,053			
診療収入計	5,317,648			
その他医業収益	227,096			
(うち他会計負担金)	128,719			
(2) 医業外収益	400,693			
(うち国・都道府県補助金)	9,974			
(うち他会計補助・負担金)	333,306			
(うち長期前受金戻入)	40,342			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,017			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,935,577			
2 経常費用	5,932,475			
(1) 医業費用	5,622,859			
職員給与費	2,907,997	52.4	55.7	59.8
材料費	1,270,641	22.9	24.7	19.0
(うち薬品費)	768,630	13.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	501,143	9.0	11.0	9.2
減価償却費	439,511	7.9	9.0	9.9
経費	978,665	17.7	23.3	27.7
(うち委託料)	484,823	8.7	11.5	12.4
研究研修費	17,906			
資産減耗費	8,139			
(2) 医業外費用	309,616			
(うち支払利息)	91,082	1.6	1.4	1.5
(3) 特別損失	3,102			
損益				
経常損益	12,962			
純損益	15,877			
累積欠損金	958,594			
経常収支比率	100.2		97.7	96.3
医業収支比率	98.6		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.8		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.3		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	7.8		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	92.4		85.7	83.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	56,803,935
1 固定資産	41,742,031
(1) 有形固定資産	33,732,887
(2) 無形固定資産	735,813
(3) 投資その他の資産	7,273,331
2 流動資産	15,061,904
(1) 現金及び預金	10,985,263
(2) 未収金及び未収収益	3,922,176
(3) 貸倒引当金( )	95,573
(4) 貯蔵品	245,292
3 繰延資産	-
負債合計	34,967,521
1 固定負債	23,286,667
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,066,321
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	237,519
(6) 引当金	5,976,315
(7) リース債務	6,512
2 流動負債	5,925,396
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,070,977
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,903
(5) 引当金	906,312
(6) リース債務	2,989
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,625,377
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,755,458
(1) 長期前受金	9,278,225
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,522,767
資本合計	21,836,414
1 資本金	15,168,221
2 剰余金	6,668,193
(1) 資本剰余金	5,190,142
(2) 利益剰余金	1,478,051
負債・資本合計	56,803,935
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	444,751	462,025
資本勘定繰入	389,495	472,144
計	834,246	934,169

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
 占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	長崎県病院企業団
				病院名	吉岐病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,290 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救感災輪		
診療科数	17	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	120	97.1	97.2	94.7
療養	48	91.6	94.2	90.2
結核	6	7.5	3.3	6.9
精神	50	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	228	70.6	71.1	69.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.3	18.0	17.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.1
修正医業収益(千円)	2,966,811

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,458,346			
1 経常収益	3,455,749			
(1) 医業収益	3,009,893			
入院収益	1,946,031			
外来収益	844,661			
診療収入計	2,790,692			
その他医業収益	219,201			
(うち他会計負担金)	43,082			
(2) 医業外収益	445,856			
(うち国・都道府県補助金)	3,619			
(うち他会計補助・負担金)	402,281			
(うち長期前受金戻入)	21,497			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,597			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,537,028			
2 経常費用	3,520,792			
(1) 医業費用	3,366,341			
職員給与費	1,932,172	64.2	55.7	59.8
材料費	609,690	20.3	24.7	19.0
(うち薬品費)	269,536	9.0	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	297,745	9.9	11.0	9.2
減価償却費	304,566	10.1	9.0	9.9
経費	503,994	16.7	23.3	27.7
(うち委託料)	228,621	7.6	11.5	12.4
研究研修費	13,272			
資産減耗費	2,647			
(2) 医業外費用	154,451			
(うち支払利息)	51,119	1.7	1.4	1.5
(3) 特別損失	16,236			
損益				
経常損益	-65,043			
純損益	-78,682			
累積欠損金	655,981			
経常収支比率	98.2		97.7	96.3
医業収支比率	89.4		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	12.9		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	14.8		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	12.9		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	85.5		85.7	83.5

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	56,803,935
1 固定資産	41,742,031
(1) 有形固定資産	33,732,887
(2) 無形固定資産	735,813
(3) 投資その他の資産	7,273,331
2 流動資産	15,061,904
(1) 現金及び預金	10,985,263
(2) 未収金及び未収収益	3,922,176
(3) 貸倒引当金( )	95,573
(4) 貯蔵品	245,292
3 繰延資産	-
負債合計	34,967,521
1 固定負債	23,286,667
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,066,321
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	237,519
(6) 引当金	5,976,315
(7) リース債務	6,512
2 流動負債	5,925,396
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,070,977
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,903
(5) 引当金	906,312
(6) リース債務	2,989
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,625,377
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,755,458
(1) 長期前受金	9,278,225
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,522,767
資本合計	21,836,414
1 資本金	15,168,221
2 剰余金	6,668,193
(1) 資本金剰余金	5,190,142
(2) 利益剰余金	1,478,051
負債・資本合計	56,803,935
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	205,352	445,363
資本勘定繰入	118,770	151,159
計	324,122	596,522

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	長崎県
				市町村・組合名	長崎県病院企業団
				病院名	対馬病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,812 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感へ災輪		
診療科数	25	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	222	80.1	74.2	80.5
療養	-	-	-	-
結核	4	8.2	11.8	23.1
精神	45	81.2	81.3	74.5
感染症	4	-	-	-
計	275	78.1	73.4	77.5
平均在院日数(一般病床のみ)		16.6	15.6	16.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.6
修正医業収益(千円)	4,711,128

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,556,594			
1 経常収益	5,553,946			
(1) 医業収益	4,750,816			
入院収益	2,968,581			
外来収益	1,411,442			
診療収入計	4,380,023			
その他医業収益	370,793			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	803,130			
(うち国・都道府県補助金)	29,019			
(うち他会計補助・負担金)	629,648			
(うち長期前受金戻入)	90,034			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,648			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,011,147			
2 経常費用	5,948,122			
(1) 医業費用	5,704,977			
職員給与費	3,207,867	67.5	55.7	59.8
材料費	968,566	20.4	24.7	19.0
(うち薬品費)	391,579	8.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	515,151	10.8	11.0	9.2
減価償却費	678,688	14.3	9.0	9.9
経費	825,635	17.4	23.3	27.7
(うち委託料)	359,764	7.6	11.5	12.4
研究研修費	17,184			
資産減耗費	7,037			
(2) 医業外費用	243,145			
(うち支払利息)	42,762	0.9	1.4	1.5
(3) 特別損失	63,025			
損益				
経常損益	-394,176			
純損益	-454,553			
累積欠損金	1,744,591			
経常収支比率	93.4		97.7	96.3
医業収支比率	83.3		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	12.1		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	14.1		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	12.0		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	82.1		85.7	83.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	56,803,935
1 固定資産	41,742,031
(1) 有形固定資産	33,732,887
(2) 無形固定資産	735,813
(3) 投資その他の資産	7,273,331
2 流動資産	15,061,904
(1) 現金及び預金	10,985,263
(2) 未収金及び未収収益	3,922,176
(3) 貸倒引当金( )	95,573
(4) 貯蔵品	245,292
3 繰延資産	-
負債合計	34,967,521
1 固定負債	23,286,667
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,066,321
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	237,519
(6) 引当金	5,976,315
(7) リース債務	6,512
2 流動負債	5,925,396
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,070,977
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,903
(5) 引当金	906,312
(6) リース債務	2,989
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,625,377
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,755,458
(1) 長期前受金	9,278,225
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,522,767
資本合計	21,836,414
1 資本金	15,168,221
2 剰余金	6,668,193
(1) 資本金剰余金	5,190,142
(2) 利益剰余金	1,478,051
負債・資本合計	56,803,935
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	343,220	669,336
資本勘定繰入	113,052	142,041
計	456,272	811,377

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。